

褐色細胞腫市民公開シンポジウム 2008

診断と治療の最前線

～悪性褐色細胞腫への新たな取り組み～

日時 **2008年12月6日(土)**

13:00～17:30

会場 **東京国際フォーラム ホールD1**
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

参加無料

定員 80名

定員になり次第、申込みを打ち切らせて頂きます。お早めにお申込み下さい。

申込締切り:平成20年11月22日(土)

参加お申し込み:

FAXまたはE-mailにて事務局まで。

発起人

成瀬 光栄・平田 結喜緒

プログラム

総合司会 国立病院機構京都医療センター 成瀬 光栄

13:00～13:20 来賓のご挨拶 **財団法人癌研究会 有明病院 名誉院長 尾形 悦郎先生**

第1部 シンポジウム

13:20～13:50 **I 基調講演** 司会 平田 結喜緒
(東京医科歯科大学 内分泌代謝内科教授)

褐色細胞腫の診療と課題

成瀬 光栄 (日本内分泌学会 悪性褐色細胞腫検討委員会委員長)

13:50～14:05 **II 疾患登録の意義と課題** 司会 松田 公志(関西医科大学 泌尿器科教授)
山崎 力(東京大学 臨床疫学システム講座教授)

14:05～15:05 **III 治療の現状と新たな治療** 司会 高柳 涼一(九州大学 病態制御内科学教授)

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1) 外科治療 | 松田 公志(関西医科大学 泌尿器科教授) |
| 2) MIBG治療 | 織内 昇(群馬大学大学院医学系研究科 画像核医学准教授) |
| 3) 化学療法 | 田辺 晶代(東京女子医科大学 第二内科講師) |
| 4) 新たな治療法の動向 | 河野 勤(国立がんセンター中央病院 乳腺・腫瘍内科) |

15:05～15:35 **IV 早期診断は可能か** 司会 宮森 勇(福井大学 内科学3教授)
1) 遺伝子診断から 竹越 一博(筑波大学 臨床分子病態検査医学准教授)
2) 病理診断から 木村 伯子(国立病院機構函館病院 臨床研究部病因病態研究室長)

15:40～16:00 ———— 休 憩 ————

第2部 特別講演

16:00～17:00

司会 **東京医科歯科大学 内分泌代謝内科教授 平田 結喜緒**

癒しの医療

日本医科大学医療管理学教室 准教授 高柳 和江先生

17:00～17:20 質疑応答

17:20～17:30 閉会挨拶 **労働者健康福祉機構 東北労災病院 院長 三浦 幸雄先生**

主催 国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部 / 日本内分泌学会悪性褐色細胞腫検討委員会
後援 日本内分泌学会 日本高血圧学会 日本高血圧協会 日本心血管内分泌代謝学会 東京内科医会 日本核医学会
日本核医学会分科会・腫瘍免疫核医学研究会 日本内分泌外科学会 日本泌尿器科学会 日本内分泌病理学会
日本癌学会 朝日新聞社 (予定を含む)

お問い合わせ先:国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部内
褐色細胞腫市民公開シンポジウム開催事務局 (担当 梅垣)

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

TEL:075-641-9161(内線6137) FAX:075-645-8409 E-mail:keumegak@kyotolan.hosp.go.jp

シンポジウム参加申込書

医療関係者の方

1.氏名(所属)

①氏名

()

②氏名

()

③氏名

()

2.連絡先(参加受付の確認や会場、時刻の変更などの連絡に使用させていただきます)

●e-mail

●TEL

一般の方

1.氏名

①氏名

②氏名

③氏名

2.連絡先(参加受付の確認や会場、時刻の変更などの連絡に使用させていただきます)

●e-mail

●TEL

●ご住所

備考欄

申込方法

下記、いずれかの方法にて平成20年11月22日(土)までにご連絡下さい。尚、定員になり次第、申込みを打ち切らせていただきますので、お早めにお申込み下さい。

褐色細胞腫市民公開シンポジウム開催事務局宛

1.FAX: 075-645-8409

2.e-mail: keumegak@kyotolan.hosp.go.jp

3.郵送: 〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部内

※個人情報保護について:氏名、連絡先などの個人情報は、会に関する連絡のみに利用いたします。